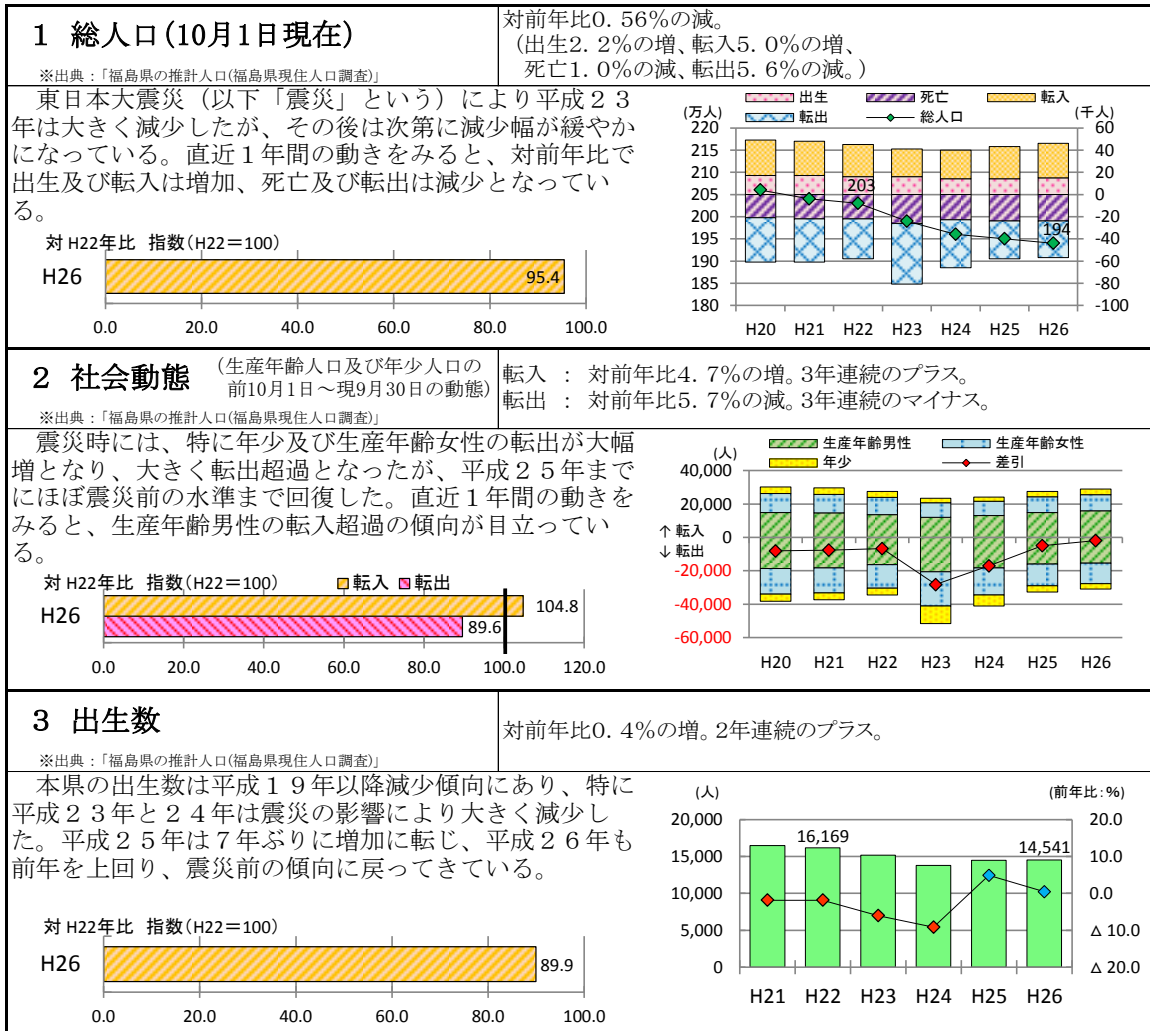


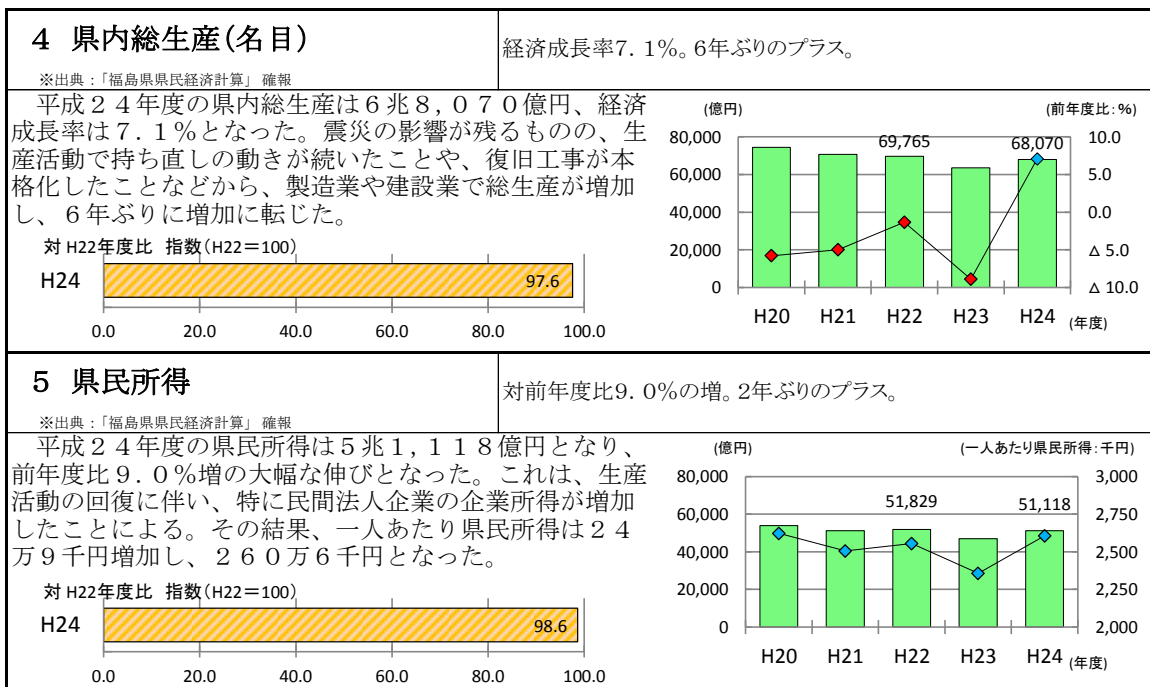
# 10の指標にみる福島県の復興 Ver. 9

平成27年3月2日

## ◎ 人口に関する指標



## ◎ 経済に関する指標



NEW!

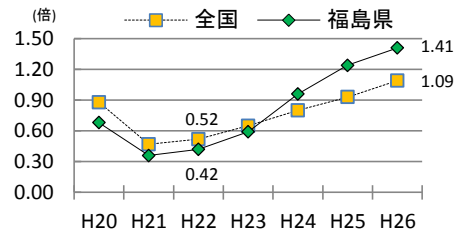
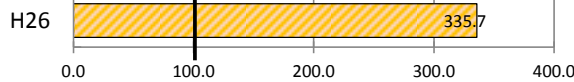
### 6 有効求人倍率

対前年比1.7ポイント増。5年連続のプラス。

※出典：厚生労働省「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」

震災前は全国よりやや低い水準で推移していたが、平成24年には復旧復興関連求人の増等で大きく伸び、国の水準を上回った。平成26年は、職業間のミスマッチは生じているものの、全体としては平成4年以来の高水準となるなど着実に改善している。

対H22年比 指数(H22=100)



NEW!

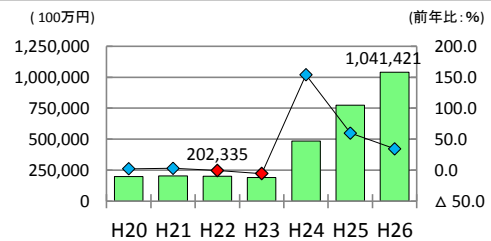
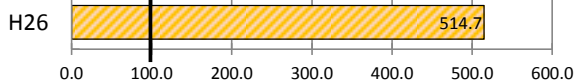
### 7 公共工事請負金額

対前年比34.4%の増。3年連続のプラス。

※出典：東日本建設業保証株式会社「福島県内の公共工事の動向」

震災以降、復旧復興の取組が続くなか3年連続で大きく増加し、平成26年には震災前の約5倍に伸びている。また、除染関連事業や環境創造センター等試験研究施設の新設など復興関連の大型事業により1件あたりの請負金額も増えている。

対H22年比 指数(H22=100)



NEW!

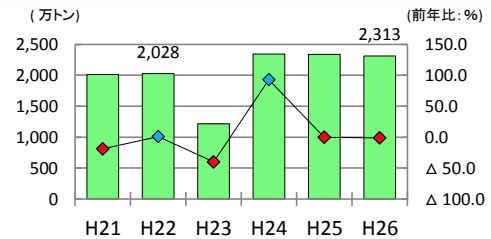
### 8 重要港湾取扱貨物量

対前年比1.1%の減。2年連続のマイナス。

※出典：県港湾課「重要港湾(小名浜港・相馬港)海上出入貨物量」

平成23年は震災の甚大な被害により大きく落ち込んだ。震災後、港湾機能の早期回復を最優先に応急復旧が進められたことで平成24年には震災前を超える水準まで回復した。その後も本格復旧が進み、高水準を維持している。(福島県の重要港湾は、小名浜港及び相馬港の2港湾)

対H22年比 指数(H22=100)



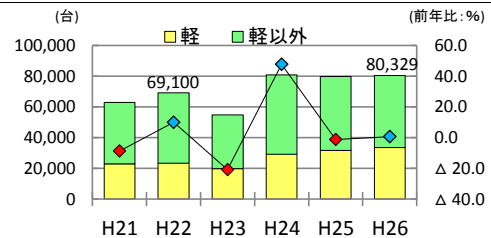
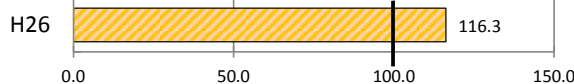
### 9 乗用車新規登録台数

対前年比0.6%の増。2年ぶりのプラス。

※出典：(一社)日本自動車販売協会連合会「統計データ」  
同連合会福島県支部資料

平成23年は震災により大きく落ち込んだが、24年はエコカー補助金等の政策効果により大きく回復した。26年は消費税増税前の駆け込み需要があり、その後反動減も見られたが高い購買意欲に支えられて依然好調に推移している。車種別では軽乗用車の増加が目立った。

対H22年比 指数(H22=100)



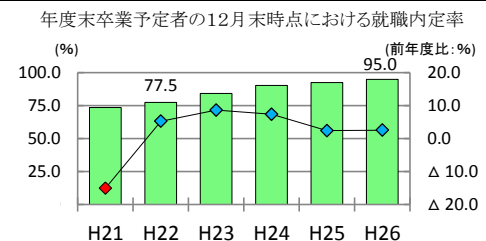
### 10 高校卒業予定者の就職内定率

対前年度比2.6%の増。5年連続のプラス。

※出典：県雇用労政課業務資料

年度末高校卒業予定者の12月末時点における就職内定率は、95.0%と過去10年間で最高の水準となった。このうち、県内企業への就職割合(県内留保率)は82.3%と3年連続で増加しており、特に女子の留保率が高くなっている。

対H22年度比 指数(H22=100)



※ 各指標の詳細なデータについては、出典元の各統計(ふくしま統計情報BOX等)をご覧ください。